

# 企業見聞録 VOL.10

単に観光客の宿泊だけではない。  
勝浦の資源を有効に活かしながら  
施設をフル活用し、  
様々な人たちにアプローチしていく。  
ホテルブルーベリーヒル勝浦の  
そんな姿に迫ってみたい



ブルーベリーヒル敷地内にある、  
ノースヒル宿泊棟を望む

盛況ぶりだという。  
また、芝生で行うヨガ教室や「勝浦の子どもたちの参加が多い」というサッカー教室も人気だ。毎月第2日曜日にはJAいすみによる朝市も開催されている。

## 地元資源を活かして様々な交流を

もちろん、ブルーベリーヒルのメインとなるのはホテルだ。ペットホテルや一棟貸しのゲストハウスも備えているため、ペット連れや企業研修、家族旅行など、様々なニーズに対応している。

中でも、東京にある関東国際高校の勝浦研修施設も兼ねているのが大きな特徴だ。「体育の授業をしたり、ハーブを作ったり。お米も作ります。上野地区の方のご協力をいただいて、田植えや稲刈りやっています。子どもたちは泥の田んぼに入るだけでキャラクター言ってますよ」と、勝浦での様々な体験は生徒たちにとって貴重な体験となっているようだ。また、その収穫した米は高校の学園祭で販売されている。勝浦の資源を活かしながら、高校生たちに勝浦の魅力を感じてもらおう。勝浦に立地しているからこその強みだろう。

また、今年は一年に一回開催されている「世界教室」の会場にもなる。世界教室は22ヶ国の国と地域から高校生が集い、ディスカッションする機会や、今回はサイクルやエコロジーについて話し合われる。様々な活動を通じて、地元の人たちや学生たちさらには国際的な交流まで展開するブルーベリーヒルのこれからの展開にも注目したい。



1) 関東国際高校の生徒たち。敷地内の農園やハーブ園で野菜やハーブの栽培も行っている 2) 海を望むレストラン「オーシャンテラス」 3) イーストヒルペットホテル。近くにはドッグランも設けられている 4) 女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」も利用するサッカー場 5) 関東国際高校の生徒たちが育てているハーブ 6) ブルーベリーヒルの敷地内にある「KHT ライディングスクエア」 7) センタープレイスレストラン。予約なしでも気軽に食事を味わえる。月イチのバイキングは大人気企画

## 【ホテルブルーベリーヒル勝浦】

所在地 勝浦市興津 1920  
設立 1997年に開業  
主な事業内容 主にホテル経営を行っている。年に一回行われる「ブルーベリーフェスティバル」は飲食店の出店やポニーの体験乗馬などが行われ、例年多くの人で賑わう  
従業員 53人（ほとんどが勝浦市に在住の人。レストランを除く）  
☎ 0470-76-3400  
<http://www.blueberry-hill.co.jp>



トンネルの向こうは楽しさいっぱい  
『なんとなくトンネルから向こうは行きづらい』  
そう思われているみたいで」と苦笑いするのは、「ホテルブルーベリーヒル勝浦」の総支配人、磯山達人さん。「確かに」と頷いてはいけな場面なのかもしれないが、別荘が立ち並ぶミレーニアからブルーベリーヒルへ向かう時に現れるトンネルは「入場ゲート」のような存在感がある。だが、ご安心を。決して入場料を取られることはないし、宿泊者以外にも楽しめる施設がいっぱいなのだ。  
20万坪、東京ドームにして約13個分の広大な敷地には清々しい雰囲気漂う。風景の向こうには青々とした太平洋を望む。「地形はこだわりがあるんですよ。普通、造成すると平らになるんですが、あえて起伏をつけて景観に変化を与えているんです。その方が落ち着くんです。電柱も地中化してですよ」。なるほど、しっかり計算された景観なのだ。と納得する。  
その敷地内は地元食材を味わえるレストランのほか、乗馬体験ができる「KHTライディングスクエア」があり、いずれも宿泊していなくても利用可能だ（二部要事前予約）。特に、センタープレイスレストランで毎月第4日曜日を実施されるランチバイキングは「お子様連れで大変賑わいます」というほどの



サラブレッドへの体験乗馬（要予約）のほか、子どもでもポニーの乗馬が体験できる（4歳から）